# ふじやまだより

第14号
発行　2004年
2月15日
本郷
ふじやま公園
運営委員会

薄っすら雪化粧の長屋門　（平成１６年1月１１日撮影）

## 有難うございました！　21,594

＜多くの方々に支えられ歩んできました、この１年＞

事務局長　辻　登

２１，５９４　この数字は、昨年２月１５日の開園日から今年１月末日までに、本郷ふじやま公園古民家ゾーンにお越しいただきましたご来園者の総数です。
ご来園いただきまして有難うございました。
自然・憩い・集う・作る・昔を知る・伝える、この６つを公園のコンセプトとして運営をすすめてまいりました。初めての事業でもあり手探りの１年でした。

ひな祭り・筍イベント・端午の節句・七夕・夏休み子ども教室・お月見・古文書講座・収穫祭・鏡開き、など多くはご家族でお楽しみいただける行事を企画開催いたしました。また日本の季節を知ることのできる花壇づくりもいたしました。

定例的な事業としては、工芸部会員が講師を務めます＜物づくり教室・各種＞を開催し継続しております。

「この古民家はいつも綺麗ですね」「園路の草取りは広くて大変ですね」「主屋と庭の砂目が調和して美しいですね」と声をかけられると嬉しくなります。

寒い中での古民家の掃除、暑い盛りの園路の草取りなど、地道なクリーンアップ作業が評価されているようで嬉しい気がします。

公園の４分の３は樹林帯です。大きく分けて杉林・竹林・雑木林とありますが、竹林の一部は間伐を行い竹炭を焼いています。緑を大切にし、ここに生きる小さな動植物とも共存できる公園にしたいと思っています。

（次ページに続く）

（前ページから続く）

本郷中・本郷小・桜井小の皆さん覚えていますか、昨年植樹していただいたドングリの木が、小さな息吹ですが芽をつけ始めました。見に来てください、待っています。

『本郷ふじやま公園開園一周年記念行事』として、2月のお雛祭りを皮切りに4月上旬までいろいろな行事を計画しております。是非ご来園いただきますようお誘い申し上げます。

多くの方々に支えられ1年が経ち2年目に入ります。2万人が3万人とより多くの方々にお越しいただけるよう、来園者の皆様の声を大切に、近隣の方々のお力もお借りして、行政と共により良い公園づくりに努めてまいりたいと思っております。

最後になりましたが公園の運営を支えていただきました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。今後とも、暖かいご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。

＜開園一周年記念行事の詳細は「開園一周年記年号」に掲載しておりますのでご覧ください。＞

# 部会便り

## 農芸部会

### 春よ来い　早く来い(2)

農芸部会　中村　忠雄

驚くほどの多くの収穫をもたらしてくれた農園･･･。いまは静かに休息の時を過ごしています。岩のように堅く、畑作りに苦労させられたあの土の塊も、今では見違えるように黒く肥沃な土へと変わりつつあります。

凍てつく農園の一画では、およそ八十年前、エジプト王家の墓発掘の際、黄金の仮面と共に発見され、今なお生き続ける「ツタンカーメンのエンドウ」が、この寒さにもめげずその葉を光らせ、他の一画では、懐かしい田園の春の彩りを再現しようと播種された「菜の花」と「れんげ草」の小さな芽が、緑の色を一層濃くしています。

にわか農夫の仲間達は、寒さもものかは今日も農園のそばの四阿に集まっては、今年の「作付け」等に想を練り、疲れては農具の整理・落ち葉を集めての堆肥作りにと体を休める時がありません。「畑を拓いてはじめての年は、意外に地味は肥えており“まずは豊作”･･･。勝負は2年目以降･･･との古老の言を忘れず、「農は土作りから」とあらためて心しているところです。

雪国では、融雪とともに現れる「雪形」に春を知り、耕作の時を知ると云われています。横浜でこれを望むことはできませんが、これに代わる何かロマン溢れる自然事象はないものでしょうか･･･。

## 里山部会

### 冬の里山

里山部会　宗森　英夫

里山と言われる場所は、人里に近く、かっては近隣の人たちがそこで家庭用の燃料とする薪炭の木材を切り出したり、田畑の肥料にする堆肥を作るために落ち葉かきをしたりした所です。しかし、燃料はガスや電気に取って代わられ、化学肥料が普及し、田畑が埋め立てられ宅地化する時代の流れの中で、人々の生活から遠ざかった存在になりました。

薪炭材として最も適した樹木としてコナラやクヌギが植林され、落葉樹なので、秋から冬にかけては落ち葉かきが盛んでした。この落ち葉から作られた堆肥は腐葉土として農作物の栽培には欠かせないものでした。本郷ふじやま公園の弓道場側（南側）の斜面には、今もその頃の名残としてコナラの林があります。

コナラはシイタケ栽培のための原木としても使用され、薪炭が不要になった現代でも利用価値があります。

# 工芸部会

## 伝統工芸「鎌倉彫」を彫る

工芸部会　室　昌子

木地に描いた一本の線を、刀圧をかけながら
いろいろな角度でゆっくりと彫る
さらりとした彫り、彫りこんだもの
一本の線をさまざまな表情に彫る楽しさ

昨秋の体験教室で角皿に「椿文」を彫りました。「彫りあがるでしょうか？」と心配していた人もいましたが、最終日には全員の作品が完成し、同じ文様を彫ってもそれぞれの表情が違い、どの作品も真剣に取り組んだあとがうかがえる立派な仕上りに歓声があがりました。作品に個々の個性を彫り出すところまで、体験教室では進められませんが、これから彫りが面白くなるという余韻を残しながら終了しました。

毎日の生活で自分が彫った角皿を使う時、木・刀・自分とが関わり合った時間を思い出しながら、手作りのぬくもりを実感される事でしょう。

# 古民家歴史部会

## 古民家の見てきた年中行事の概要・其の一

古民家歴史部会　木島　健司

本郷ふじやま公園にある古民家（旧小岩井家の）が見てきた行事について。

**結婚披露宴**

下座敷・中の間・広間の襖を取り払い使った。花婿・花嫁は下座敷の槍床の前に、招待客は両側に座った。披露宴は親戚と村の全員が招待され一日では終わらなかった。

**講中**

鍛冶ヶ谷の東谷戸と西谷戸に別れて行われていた。

**念仏講**

現在でも鍛冶ヶ谷の30軒程で続いており、色んなお寺の檀家の方が集まり、毎月一回順番で行っている。昔は食事を出したが、今はお茶で済ましている。以前は男性もいたが今は女性だけになった。

**八幡様のお日待ちと祭礼**　9月

神主さんと宮惣代他２０～３０人が小岩井家で着替え宮参り後、小岩井家で食事をした。今は惣代５～６人でお宮で済ませている。

**さいと焼き**　1月14日

田圃の脇から道祖神を持って来て行った。道祖神は元の場所に戻した。今は「どんど」焼きといっている。

# いろり守の会

**3月のいろりの焚火の日**

３／７(日)、３／１０(水)、３／２０(土)、３／２１(日)、３／２５(木)

いろり守の会では会員を募集しています。

上記焚火の日に公園主屋のいろり端までお出掛けください。詳細は、その際御説明申上げます。

## ご近所の方の声

**公園に散歩に来た方やボランティアで来た方から一言**

●お父さんと10歳くらいの男の子、5歳くらいの女の子
「もうこの公園には１０回くらいきています」
●犬を連れて散歩中の奥さん
「ここは散歩にはとてもいいわ」
●ご近所に住む主婦の方
「私はふじやま公園に毎日のように行って、みなさんといっしょに遊んでいます。
今は竹細工をしていますが面白いですね。夏にはボランティアで野菜畑の手入もするんですよ。
犬も散歩にくるけどマナーは守って欲しいですね。」（談）

## 催し物　ご案内

| 教室名 | 日時 | 内容 | 定員 | 参加費 | 申込み期限 |
|---|---|---|---|---|---|
| 七宝焼き | 4月8日（木）<br>13時～16時 | 指輪 | １２名 | ¥1,500 | 3月30日（火）<br>必着 |
| 染色（全4回） | 4月13日、5月18日<br>6月22日、7月20日<br>各火曜日　13時～16時 | 草木染め | １２名 | 1作品<br>¥2000程度<br>（材料実費） | 3月31日（水）<br>必着 |

（１）定員　　：応募者多数時抽選
（２）応募要領　：往復ハガキに、教室名、氏名（ふりがな）、〒、住所、電話番号を書いて
**本郷ふじやま公園へ**

## お知らせ

・休館日　　：3月3日（水）
・クリーンアップ作業日　　：3月2日（火）、16日（火）

◎ 臨時休園日・・古民家の補修工事のため、4月14日（水）～27日（火）の期間、休園とします。

## 古民家ゾーン　ご利用案内

◎開館時間　：9:00～17:00
◎休館日：毎月第1水曜日（祝日の場合はその翌日）
◎入館料：無料

◆ 本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷１－２０
Tel:896-0590　Fax:896-0593
◆ 緑政局中部公園緑地事務所
Tel:711-7802　Fax:712-6260